

科目名	数学の世界	
担当者	近藤 正男 / KONDO, Masao	
科目情報	教養科目 3 群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2 単位 / 1 年次	
科目概要	授業内容	線形代数学は連立一次方程式の解法に代表されるように、社会の諸分野における数理的考察の基礎をなすものである。本講義では線形代数学の理論とその応用について講ずる。
	到達目標	「ベクトル」、「行列」、「行列式」の扱いに習熟し、その応用として連立一次方程式の解法を学ぶとともに、その中から線形代数学の理論的基礎を学び取ることを目標とする。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 多元量としてのベクトルと行列</li> <li>(2) 多元量としてのベクトルと行列</li> <li>(3) 多元量としてのベクトルと行列</li> <li>(4) 行列と一次変換・座標変換</li> <li>(5) 行列と一次変換・座標変換</li> <li>(6) 連立一次方程式と行列式</li> <li>(7) 連立一次方程式と行列式</li> <li>(8) 連立一次方程式と行列</li> <li>(9) 連立一次方程式と行列</li> <li>(10) 連立一次方程式と行列</li> <li>(11) 行列の標準化と固有値</li> <li>(12) 行列の標準化と固有値</li> <li>(13) 行列の標準化と固有値</li> <li>(14) 線形計画法</li> <li>(15) 総まとめ</li> </ol>	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	・2または3回おきに、レポートを課す。
使用教材・参考文献	【教】 矢野健太郎・田代嘉宏「社会科学者のための基礎数学（改訂版）」 裳華房，1993年 ISBN 4-7853-1081-2	
成績評価方法と基準	＜方法＞小テスト・レポート（40点）期末試験（60点）	
備考	教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	